

団体名		公益財団法人武蔵野市国際交流協会				
①	指標名	在住外国人支援事業への外国人市民参加促進			目標値	外国人支援事業への外国人の参加者拡大 (対前年度増)
	過去の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:人)	749	857	962	MIA外国人支援事業にかかる外国人の延べ参加者数	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目				(2) 事業評価の導入と事務事業の見直し	
	設定理由等	外国人住民人口の増加に伴い、外国人市民支援事業の需要はより高まっている。ニーズに応え参加者を拡大することで、多文化への理解を深め、支援内容のさらなる強化につなげるため。				
業	取組	(1) 支援事業をZOOMを取り入れたリモート参加及び現場開催を併用した「ハイブリッド方式」で実施し、コロナ禍後の「新しい生活様式」に即した参加しやすい環境を整える。 (2) 日本語教室など(保育含む)現場開催のニーズが高いものに応えるため、より広い会場での開催を行う。 (3) 市の「多文化共生推進プラン」の内容に沿った連携方法の協議を行い、令和5年度中にMIAの「事業活動方針(仮称)」を策定する。 (4) 市が実施を検討している多文化共生推進事業との連携・協力を図る。				
	内容					
②	指標名	会費収入の確保			目標値	1,000千円
	過去の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:千円)	1,013	969	955	コロナ禍の影響により会員数が減少し、会費収入も減少している。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目				(4) 団体職員の人材育成と財政基盤の強化	
	設定理由等	・公益性が極めて高い事業を行っており、自主財源確保の手段は限られているが、財政援助出資団体としてできる限り自立性が高められるよう、会員数の増加とそれに伴う会費収入増加に向けて努力する必要がある。 ・協会活動の理解者を増やし、会員の増加につなげていく活動が、多文化共生の推進にも寄与するものと考えられる。				
務	取組	(1) 「多文化体験ウィーク」などの協会事業における広報活動をはじめとして、「防災フェスタ」などの市主催事業におけるブース出展等を通じた広報を積極的に行う。 (2) 市と連携し、転入時に市が配布する「転入セット」にMIAの広報チラシを同封し、MIAの認知度向上に取組む。 (3) 現会員に対して積極的な口コミを依頼するほか、SNSをはじめとした様々なメディアを通じた広報に取組む。				
	内容					
③	指標名	M I A 事業へのボランティアの参加促進			目標値	ボランティア登録者数の拡大 (対前年度増)
	過去の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:人)	268	253	253	語学ボランティア、日本語交流員、留学生ファミリーの合計	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目					
	設定理由等	M I A の事業は、会員ボランティアが運営を担っており、職員はそのコーディネートを行っている。限られた職員数で充実した事業を行うためには多様なボランティア人材の活用が必要のため。				
部	取組					
	内容	(1) ボランティア説明会とボランティア養成講座を開催し、新規ボランティアの登録者数を増やす。 (2) 説明会、講座共に対面及びリモートによる実施などを取り入れ、ボランティアが参加しやすい環境を整える。				
管	取組					
理	内容					